2026 年 11 月

株式会社 C-HAS プラス

熊本大学発 C-HAS プラス、台湾の国際スタートアップイベントに登壇・出展

天然物の探索・評価から国産生薬の安定供給へ
既存事業の海外展開と新事業の構築に向け、連携パートナーを開拓



株式会社 C-HAS プラス（本社：熊本県熊本市、代表取締役 CEO：菊池正彦、取締役社長 COO：首藤剛）は、2026 年 11 月 18 日（水）に台湾・台北で開催される熊本市主催「KUMAMOTO X TAIWAN CONNECT 2026」に登壇するとともに、11 月 19 日（木）～21 日（土）に開催される「2026 Meet Taipei Startup Festival」に出展いたします。

当社は、熊本大学で培われた天然物研究の成果を基盤に、植物情報データベース「PDIII」、天然物エキスバンク「NEB」、線虫を用いた健康寿命評価技術「C-HAS」を組み合わせ、医薬品・健康食品・化粧品分野の素材探索と機能性評価、共同研究開発を支援しています。

さらに、これまでの探索・評価の知見を生かし、国産生薬の栽培・品質評価・加工・供給管理をつなぐ新事業の構築に取り組んでいます。今回の台湾での活動では、既存の研究開発支援サービスに加えて、この新たな事業展開を紹介し、企業・研究機関・投資家との対話を通じて、国内外の連携機会の創出を目指します。

「探す・届ける・評価する」をつなぎ、天然物の研究開発を支援

天然物を製品開発につなげるには、有望な素材を見いだすだけでなく、研究用試料を確保し、その生物学的な価値を科学的に評価する必要があります。当社は、次の 3 つの研究開発基盤により、企業の課題に応じた単独サービスから一貫した研究支援まで提供しています。

○ PDIII｜世界約 32 万種の植物情報から、有望な候補を探索

伝統的利用、既知の薬理作用、成分などの情報を活用する創薬指向型植物データベースです。目的とする機能や用途に応じた候補植物の選定を支援します。

○ NEB｜3 万点以上の天然物エキス資源を、研究用試料として活用

植物、微生物など多様な天然資源に由来するエキスを活用し、候補素材のスクリーニング、活性成分の探索、共同研究開発を支援します。

○ C-HAS｜個体レベルで寿命・健康寿命への影響を評価

動物実験代替モデルとしても知られる線虫（*C. elegans*）の寿命や活動状態を定量的に解析し、素材の生物学的な作用を評価します。研究開発初期段階での候補選定や、素材間の比較評価に活用しています。

※C-HAS による評価は線虫を用いた研究段階の生物機能評価であり、ヒトにおける有効性を直接証明するものではありません。

受託研究・共同研究を通じて得られる企業のニーズや研究知見を、次の素材探索や評価系の開発に生かし、継続的な研究開発パートナーとしての事業基盤を強化しています。



探索・評価で培った知見を、国産生薬の安定供給へ

天然物の社会実装には、「有望な素材を見つける」「機能を評価する」に加え、「必要な品質と量を継続して届ける」という課題があります。C-HAS プラスは、この供給面の課題を新たな事業機会と捉え、国産生薬の安定供給基盤の構築に向けた取り組みを進めています。

具体的には、薬用植物の栽培条件の検討や成分・品質評価に、加工方法、供給管理、実需者が求める規格・数量・価格の検討を組み合わせ、生産側と需要側をつなぐ事業モデルの構築を目指します。栽培技術だけ

でなく、生産コストや作業負担も踏まえ、生産者と利用企業の双方が継続できる供給の仕組みを検討していきます。

これは、既存の天然物探索・評価事業とは別の領域に進出するのではなく、研究開発で蓄積する素材情報、評価データ、企業との接点を、品質評価や供給支援へと広げる取り組みです。受託・共同研究による開発支援に加え、将来的には品質を確認した原料の継続供給につながる事業機会の創出を目指します。

現在は研究開発と事業基盤の構築を進める段階にあり、品質・収量・経済性を検証しつつ、社会実装に取り組みます。



熊本大学や東海大学九州キャンパスを中心とする AMED 採択プロジェクトに参画

こうした取り組みの一環として、当社は、熊本大学を中心とする「薬農融合アプローチによる薬用植物産地形成技術の体系化と国産生薬の安定供給基盤構築」に参画します。同プロジェクトは、日本医療研究開発機構（AMED）の令和 8 年度「創薬基盤推進研究事業」に採択され、2026 年 10 月に公表されました。本プロジェクトでは、熊本大学、東海大学九州キャンパス、関連企業などが参画し、薬用植物の国内自給率向上と漢方薬の安定供給に向けて、育種・栽培・生産技術等の研究を進めます。当社は、大学の研究成果と企業・生産現場のニーズをつなぐ立場から、研究段階の成果を社会実装に繋げることを目指します。

https://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/news/2026/10/amed.html

台湾での対話を、既存事業の拡大と次の成長領域へ

今回の台湾での登壇・出展では、食品・化粧品・医薬品分野の企業や大学・研究機関に対し、機能性素材の共同探索、自社保有素材の評価、天然物の新たな用途開発などを提案します。あわせて、国産生薬の新事業についても紹介し、原料に求められる品質や供給条件、共同開発・事業連携の可能性について意見交換を行います。

台湾での活動を海外の顧客・パートナー候補との接点を広げる機会とし、熊本大学発の研究資源を国内外の研究開発や新たな事業機会につなげてまいります。

参加イベント概要

① KUMAMOTO X TAIWAN CONNECT 2026

日時	2026 年 11 月 18 日(水)17:00～20:00(台湾現地時間)
会場	One&Co Taipei 台湾・台北市中山区南京東路一段 15 号 3 階
主催・参加費	熊本市／無料(事前登録制)
当社参加内容	ピッチ登壇、交流・ネットワーキング

https://oneandco.tw/events/kumamoto-x-taiwan-connect-2026

② 2026 Meet Taipei Startup Festival

会期・時間	2026 年 11 月 19 日(木)～21 日(土) 9:00～18:00(台湾現地時間)
会場	台北花博争艷館(Expo Dome, Taipei)
当社参加内容	熊本市・XOSS POINT.の出展スペースにて、 研究開発技術および事業を紹介

https://meettaipei.tw/jp

共同研究・事業連携のご相談を募集

C-HAS プラスでは、国内外の企業・研究機関との共同研究・共同開発のご相談を受け付けています。新規機能性素材の探索、自社保有素材の生物学的評価、健康寿命に着目した研究開発に加え、国産生薬の栽培・品質評価・加工・供給体制に関する連携についても、ご相談を受け付けています。

食品・化粧品・医薬品企業、生薬関連事業者、生産・加工事業者、事業共創に関心をお持ちの投資家の皆さまとの対話を通じて、天然物の新たな価値と持続可能な事業の創出に取り組んでまいります。



株式会社 C-HAS プラスについて

「自然と生命が調和する健幸社会を共に創る」をビジョンに、熊本大学の研究成果を活用し、天然物の探索、研究用試料の提供、生物機能評価を組み合わせた研究開発支援を行う大学発スタートアップです。既存の研究開発基盤を生かし、国産生薬の安定供給を目指す新事業の構築にも取り組んでいます。

会社名	株式会社 C-HAS プラス
経営陣	代表取締役 CEO：菊池 正彦、取締役社長 COO：首藤 剛、 取締役 CSO：甲斐 広文、社外取締役 CFO/CIO：梅田 和宏
所在地	熊本県熊本市中央区大江本町 5-1 産業イノベーションラボラトリー内
設立	2019 年 4 月 1 日（2022 年 4 月に現社名へ変更）

https://c-hasplus.co.jp

本件に関するお問い合わせ・共同研究のご相談

株式会社 C-HAS プラス　E-mail：info@c-hasplus.co.jp
https://c-hasplus.co.jp/contact/